

NPO 法人対人援助・スピリチュアルケア研究会

対人援助研究所

『研究報告集』査読指針

対人援助研究所『研究報告集』編集委員会は、『研究報告集』（以下、本誌）に投稿された論文等に対して、査読者の皆様に次の指針に沿って査読をお願いしたいと思います。

1. 査読で留意していただきたい点は、対人援助・スピリチュアルケア研究における当該研究の「意義」、「独創性」、「内容の妥当性」、「倫理性」です。その上で、査読者は「採択」、「若干の修正後に採択」、「大幅な修正後に採択」、「リジェクト」を判断してください。

- ・採択：修正なしで採択してよい場合のことです。
- ・若干の修正後に採択：投稿された論文を採択することを前提として若干の記載の追加、語句や文章の変更が必要な場合のことです。
- ・大幅な修正後に採択：投稿された論文が採択の可能性があると判断し、大幅な修正が必要な場合のことです。大幅な修正とは、緒言の不備の修正、方法の明確化、解析の追加・修正、結果の解釈の再考、考察の再考、結論の再考などが該当します。
- ・リジェクト：投稿された論文は修正後にも採択は困難であると判断した場合のことです。当該研究に新規性・重要性がない、方法に致命的な欠点があり、新しく調査や実験を追加しなければ意味をなさない、論証の一貫性が保てないと判断される場合がこれに該当します。

2. 投稿者が理解できて納得できる明快な査読をお願いいたします。論文に対する査読のコメントと説明には、投稿者が対応に困るような曖昧な表現は避け、具体的に修正が可能な指摘を求めます。査読者は論文が研究の「意義」、「独創性」、「内容の妥当性」、「倫理性」の観点からより優れたものとなるよう、投稿者に対して修正可能なコメントと説明をして、投稿者が納得できるような根拠を示して査読をしてください。

査読に際して、具体的には以下の諸点を留意してください。

- ・可能な限り初回の査読で「この論文は指摘したコメントと説明に則った修正が行われれば掲載可能であるか」どうかを判断してください。
- ・掲載可能と判断した場合は、できる限り初回の査読で当該論文の不十分な点はすべてご指摘ください。2回目以降の査読では初回の査読で修正されていない点、修正が不十分な点を中心に査読し、全く別の新たな修正点を要求することは、修正投稿で新たな問題が出てきた場合を除き原則として避けてください。
- ・何度も投稿者が修正した後に不採択とするという事態は可能な限り避けてください。
- ・しかし実際には投稿者の修正後に最初の査読・コメントとは異なった判断をすることもありますがこれは許容されます。初回の査読が絶対という意味ではありません。

- ・修正が不十分で受理が難しいと判断される場合は、「リジェクト」を選択してください。その場合は、採択できない理由を明確にコメントし、説明してください。
- ・ご自分の見解との相違があったとしても、それを採否の基準にはしないでください。

3. 論文採択に関して査読者に求められていますのは当該研究についての専門的な助言です。それゆえ、査読者の論文採択に関する意見は最大限尊重されますが、最終的な判断は編集者、編集長が対応いたします。

- ・「若干の修正後に採択」、「大幅な修正後に採択」と査読者の判断をいただいた後に修正された論文が再投稿され、それが査読者のコメントに十分対応していると編集者が判断したときには、再査読を査読者に依頼せずに論文を採択することもあります。しかし修正論文が査読者のコメントに十分対応しているかを判断できない場合には、再査読をお願いいたします。
- ・査読報告書は、査読者氏名を除き、そのままコピーして投稿者に送付いたしますので、その点をご配慮ください。
- ・査読の過程で論文の投稿者は編集者、査読者を知りません。査読者もまた、やむを得ない場合を除いて、原則として筆者を知らされません。これは査読の公平性を担保するため、査読者が筆者を知ることによって筆者の立場を考慮して論文を不公平に評価し判断することを避けることを意図しています。

NPO 法人対人援助・スピリチュアルケア研究会
対人援助研究所『研究報告集』編集委員会